

# 静岡大学 公開講座 2017年度

## CONTENTS

受講にあたって	3
公開講座開設一覧	4
講座案内	
教養を高める	6
科学・自然に親しむ	15
身体を動かす	22
その他の大学開放事業	27
各会場へのアクセス	35



しずっぴー



静岡大学



---

# 公開講座

---

静岡大学では、本学の専門的、総合的な教育・研究機能を開放することによって、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978（昭和53）年より実施しています。

静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、県内各地で開催します。



## 1 対象者

原則として、どなたでも受講できます。ただし、講座により受講対象を限定している場合がありますので、各講座の「対象」の欄をご覧ください。

## 2 実施会場

会場は、講座によって異なります。各講座の「会場」の欄をご覧ください。なお、会場への交通案内については、35～39ページをご参照ください。

## 3 申込方法

各講座の「申込方法」の欄をご確認ください。お申込後、受講料の納入方法や会場など、詳細について連絡を差し上げます。なお、それぞれの講座は一部を除き先着順となりますので、定員に達した場合にはお断りすることもあります。予めご了承ください。

## 4 修了証書の授与

修了された方には静岡大学より修了証書を発行します。

## 5 お問い合わせについて

講座内容や、その他受講に関するお問い合わせは、各講座の「問合せ」欄に記載されている連絡先をお願いいたします。

種別	講座名	日程	会場	ページ
教養を高める	中国人による中国講座 ～日本人の知らない中国～ [全8回]	4/15、5/22、 6/24、7/22、 9/30、10/28、 11/25、12/23 (いずれも土曜日、 5/22のみ月曜日)	静岡キャンパス	6
	医療中国語 [全16回]	4/15、22、 5/20、27、 6/24、7/15、22、 8/26、9/30、 10/21、28、 11/4、25、 12/23、1/27、 2/10 (いずれも土 曜日)	静岡キャンパス	7
	ふじのくにのホモ・サ ピエンス～3万5千年 前の遺跡から現代人的 行動を探る～ [全3回]	6/17、24、7/8 (いずれも土曜日)	プラサ ヴェルデ (ふじのくに千本 松フォーラム)	8
	学んで楽しい～大学 で学ぼう～ [全3回]	6/17、10/14 (いずれも土曜日、 10/14のみ午前、 午後の2講座開催)	静岡キャンパス	9
	世界の名著を読む ～J・S・ミル『自由論』 を読む～ [全2回]	7/8 (土)、9 (日)	アイセル21 (静岡 市葵生涯学習セ ンター)	10
	中高生のための心理学 入門	8/22 (火)	静岡キャンパス	11
	市民社会と法 [全5回]	10/21、11/11、 12/9、1/20、 2/10 (いずれも土 曜日)	アイセル21 (静岡 市葵生涯学習セ ンター)	12
	人工知能が拓く明日の 暮らし	11/11 (土)	浜松キャンパス	13
	アカデミック・カフェ ロボットと共生する情 報社会	11/12 (日)	浜松キャンパス	14

種別	講座名	日程	会場	ページ
科学・自然に親しむ	藤枝フィールドの散策と春の雑草観察	4/22 (土)	農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	15
	私のミカン～ミカンの通年管理教室～ [全5回]	5/9、7/11、9/12、11/14、3/6 (いずれも火曜日)	農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	16
	紅茶作りに挑戦しよう	7/27 (木)	農学部附属地域フィールド科学教育研究センター	17
	遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	8/2 (水)、3 (木)	静岡キャンパス	18
	体験!大学の化学実験 [全2回]	8/19(土)、20(日)	静岡キャンパス	19
	静岡大学キャンパスミュージアム公開講座2017 [全4回]	10/7、14、21、28 (いずれも土曜日)	静岡キャンパス	20
	フルーツの多様性から農業ビジネスの可能性を探ろう! [全3回]	10/13、12/1、2/23 (いずれも金曜日)	健康文化交流館「来・て・こ」	21
身体を動かす	安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (初級編)	5/14 (日)	静岡キャンパスおよび屋外	22
	静岡大学で学ぶ春の走り方	5/20 (土)	静岡キャンパス	23
	静岡大学で学ぶ夏の走り方	7/22 (土)	静岡キャンパス	24
	静岡大学で学ぶ秋の走り方	9/16 (土)	静岡キャンパス	25
	安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル (中級編)	10/9 (月・祝)	屋外(静岡市郊外)	26

# 中国人による中国講座 ～日本人の知らない中国～

趣 旨	静岡県と浙江省は毎年相互訪問をしています。中国の人を迎えるあるいは中国を訪れるに際して、中国について多方面からの知識が必要とされています。本講座は静岡大学の中国人講師を迎え、言語、芸術、法律、医術、社会福祉、武術などについて学びます。それぞれの専門領域からの講義を通して中国文化に触れまた知識を深めることができます。中国及び中国人に対する理解を深め、日中友好の促進の一助とします。(https://www.facebook.com/JingdaZhongguoJiangzuo/)
日 程	4月15日(土)、5月22日(月)、6月24日(土)、7月22日(土)、9月30日(土)、10月28日(土)、11月25日(土)、12月23日(土) [全8回] 13:00～15:00 (5/22のみ18:00～20:00)
講 師	人文社会科学部准教授 張 盛開 (中国語学) 大学教育センター講師 翟 勇 (中国語学、心理言語学) 静岡大学非常勤講師 金 小賢 (教育学) 静岡大学非常勤講師 王 元武 (中国医学) 静岡大学非常勤講師 盧 思 (芸術) 法務研究科教授 朱 曄 (民法、中国法) 静岡大学非常勤講師 周 佩芳 (中国武術)
プログラム	4/15 「講座の紹介と中国入門」(張) 5/22 「中国語心理言語学」(翟) 6/24 「中国語と日本語の面白さ」(金) 7/22 「薬膳」(王) 9/30 「中国画」(盧) 10/28「日中の家族について」(朱) 11/25「太極拳」(周) 12/23「漢字の起源と変遷」(張)
会 場	静岡大学静岡キャンパス 人文社会科学部B棟301教室 (10/28のみ人文社会科学部B棟303教室) ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	80人
対 象	一般市民
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-237-3612 <input type="checkbox"/> メール) zhang.shengkai@cii.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	3月6日(月)～3月31日(金)
問 合 せ	静岡大学人文社会科学部総務係 ☎054-238-4483
後 援	静岡県教育委員会



## 医療中国語

趣 旨	静岡空港の中国便の増加により、静岡県への中国人観光客は増える一方です。このような状況の中で中国人の医療機関の利用率も増えています。その結果、医療関係者には中国語力が求められます。このような状況に合わせ、元看護師張盛開と元漢方医王元武の二人が医療中国語の講座を開きます。中国語会話に加え、医療語彙、そしてそれぞれの専門領域からの中国文化の講義を通して中国の知識を深めることができます。教材は『実用医学漢語』言語篇①(2000円前後、実費)使用。(https://www.facebook.com/JingdaZhongguoJiangzuo/)
日 程	4月15日・22日、5月20日・27日、6月24日、7月15日・22日、8月26日、9月30日、10月21日・28日、11月4日・25日、12月23日、1月27日、2月10日(すべて土) [全16回] 15:30～17:00
講 師	人文社会科学部准教授 張 盛開 (中国語学・元看護師) 静岡大学非常勤講師 王 元武 (漢方医学)
プログラム	4/15 「発音の復習と中国語による自己紹介」(張) 4/22 「銀行の位置01」(王) 5/20 「銀行の位置02」(張) 5/27 「私の誕生日01」(王) 6/24 「私の誕生日02」(王) 7/15 「私の辞典01」(張) 7/22 「私の辞典02」(王) 8/26 「サッカーしまじょう01」(王) 9/30 「サッカーしまじょう02」(王) 10/21 「Dr.馬の電話01」(張) 10/28 「Dr.馬の電話02」(王) 11/4 「欠席の原因01」(張) 11/25 「欠席の原因02」(王) 12/23 「冬休みの予定01」(王) 1/27 「冬休みの予定02」(王) 2/10 「試験」(張)
会 場	静岡大学静岡キャンパス 人文社会科学部B棟205教室 (10/28のみ人文社会科学部B棟303教室) ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	8,100円
定 員	20人
対 象	一般市民
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-237-3612 <input type="checkbox"/> メール) zhang.shengkai@cii.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	3月6日(月)～3月31日(金)
問 合 せ	静岡大学人文社会科学部総務係 ☎054-238-4483
後 援	静岡県教育委員会

# ふじのくにのホモ・サピエンス～3万5千年前の遺跡から現代人的行動を探る～

趣 旨	静岡県東部は、日本列島におけるホモ・サピエンス（我々と同じ現生人類）の出現期の研究で、最も重要なフィールドのひとつであり、これまでに重要な研究成果が蓄積されてきました。本公開講座では、これまで静岡県東部の遺跡や出土資料の研究で明らかにされてきた研究成果が、世界で進められている研究の中でどのような意味を持っているのか解説します。
日 程	6月17日（土）、6月24日（土）、7月8日（土） [全3回] 14:00～16:00
講 師	人文社会科学部准教授 山岡拓也（先史考古学） 明治大学黒耀石研究センター研究員 池谷信之（先史考古学）
プログラム	6/17「ホモ・サピエンスの技術と能力とは何か～世界各地で明らかにされている現代人的行動～」(山岡) 6/24「人類史最古の遠距離航海と土木工事～神津島産黒耀石と陥穴猟～」(池谷) 7/8 「3万5千年前のハイテク狩猟具～台形様石器の実験考古学～」(山岡)
会 場	プラサ ヴェルデ（ふじのくに千本松フォーラム）407会議室 ※会場までの地図は、P39の交通案内をご覧ください。
受講料	無料
定 員	80人
対 象	一般市民
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX 054-238-4295 <input type="checkbox"/> メール LLC@ipc.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門宛 ※氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	5月1日（月）～ ※定員になり次第締め切ります。
問 合 せ	静岡大学イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門 ☎054-238-4817
後 援	静岡県教育委員会、沼津市教育委員会（予定）

# 学ばって楽しい ～大学で学ぼう～

趣 旨	知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。また、日頃の就労生活を支えるためには、余暇活動や生涯学習の充実が必要となります。大学で講義を聴く会を開催することで、学びの環境づくり、講義内容と支援の効果的な方法を提供することができます。
日 程	6月17日(土) 9:30～11:30 10月14日(土) 9:30～11:30 10月14日(土) 13:00～15:00 [全3回]
講 師	岐阜県立飛騨特別支援学校 野田将之(知的障害指導) 文京学院大学客員教授 松為信雄(就労問題)
プログラム	6/17 「学びの仲間づくり」 10/14 「働き続けるということ」 10/14 「これからの就労の在り方と合理的配慮」
会 場	静岡大学静岡キャンパス 大学会館ホール ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	100人
対 象	一般市民
申込方法	FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 〔FAX〕054-247-2812 〔葉書〕〒420-0885 静岡市葵区大岩町1-15 静岡大学教育学部附属特別支援学校高等部宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	6月1日(木)～6月12日(月)
問 合 せ	静岡大学教育学部附属特別支援学校 ☎054-247-2811
後 援	静岡県教育委員会

# 世界の名著を読む ～ J・S・ミル『自由論』を読む～

趣 旨	世界の古典的名著をゆっくりじっくり読み進めます。日頃読みたいと思いつかなかく読めずにいる方、皆さんで意見交換しながら読みたいという方などを対象に、できるだけ平易な解説を加えた上で、受講者の皆さんと意見交換したいと思います。今回は、自由に関する古典的名著である、J・S・ミルの『自由論』を読みながら、言論や思想の自由など、自由をめぐる諸問題について考えていきたいと思ひます。
日 程	7月8日(土)・9日(日) [全2回] 10:00～12:00
講 師	人文社会科学部教授 井柳美紀(政治思想、政治学)
プログラム	7/8 「思想および言論の自由について」ほか(1～3章) 7/9 「社会の権威の限界について」ほか(4～5章)
会 場	アイセル21(静岡市葵生涯学習センター) ※会場までの地図は、P38の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	15人
対 象	どなたでも歓迎。高校生も可。
申込方法	電話によりお申し込みください(先着順)。 静岡市葵生涯学習センター(アイセル21)宛 TEL 054-246-6191 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名をご連絡ください。 ※J・S・ミル『自由論』を各自ご用意ください。今回は岩波文庫版を使用します。できれば事前に一部でも読んでこられることが望ましいですが、読んで来なくとも参加可能です。
申込期間	5月25日(木)～6月23日(金)
問 合 せ	静岡市葵生涯学習センター ☎054-246-6191
共 催	静岡市葵生涯学習センター
後 援	静岡県教育委員会

# 中高生のための心理学入門

趣 旨	心理学は心の働きについて科学的に探究する学問です。一人ひとりの感じ方や考え方、他者とのつながり、心の成長と健康など、一見すると不思議に思えるような現象も、そこには理に適った仕組みがあるものです。実験や調査という手法を用いて心の仕組みを明らかにしていこうとするのが心理学です。中学や高校で心理学を正式に学ぶことはありませんが、誰にも身近な学問のほうです。この講座では、大学で学ぶ心理学の一端を簡単な実験なども交えながら学びます。心理学を学んで実践に役立てていこうという国家資格の公認心理師の養成も始まります。心理学を学ぶことでどのような仕事に役立てていくことができるのかも紹介します。
日 程	8月22日(火) 9:30~12:30
講 師	人文社会科学部教授 笠井 仁(臨床心理学) 人文社会科学部教授 橋本 剛(社会心理学) 人文社会科学部教授 幸田のみ子(精神医学・臨床心理学)
プログラム	9:30~10:30「心を科学する」(笠井) 10:40~11:30「中高生でも学べる心理学」(橋本) 11:40~12:30「心の専門家とその仕事」(幸田)
会 場	静岡大学静岡キャンパス 人文社会科学部E棟201教室 ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	50人
対 象	中学生・高校生
申込方法	FAX・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX 054-237-3612 <input type="checkbox"/> 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス、学校名、学年、講座名を明記してください。
申込期間	6月1日(木) ~ 8月10日(木)
問 合 せ	静岡大学人文社会科学部総務係 ☎054-238-4483
後 援	静岡県教育委員会

## 市民社会と法

趣 旨	市民社会をめぐる様々な法的な問題について、法務研究科に所属する研究者教員が、それぞれの専門の立場から、一般の方にも分かりやすく解説を行います。講座は連続性、体系的を離れ、1回完結の形で行いますので、受講者が興味のある問題だけを選択して講座に参加することも、また、すべての講座に参加して、市民社会をめぐる様々な法的な問題について、多面的な知識を得ることも可能です。多くの市民の皆様の参加をお待ちしております。
日 程	10月21日(土)、11月11日(土)、12月9日(土)、1月20日(土)、2月10日(土) [全5回] 13:30~15:30
講 師	法務研究科教授 阿波連正一(民法) 法務研究科教授 板倉美奈子(国際法) 法務研究科教授 朱 曄(中国法) 法務研究科教授 吉川真理(刑法) 法務研究科教授 恒川隆生(行政法)
プログラム	10/21「沖縄基地問題と土地所有権」(阿波連) 11/11「国連の平和活動の現状と課題」(板倉) 12/9「中国法入門」(朱) 1/20「市民社会と裁判員制度」(吉川) 2/10「行政法制度の規制緩和」(恒川)
会 場	アイセル21(静岡市葵生涯学習センター) ※会場までの地図は、P38の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	30人
対 象	どなたでも
申込方法	電話によりお申し込みください(先着順)。 静岡市葵生涯学習センター(アイセル21)宛 TEL 054-246-6191 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名をご連絡ください。
申込期間	9月1日(金) ~ 9月30日(土)
問 合 せ	静岡市葵生涯学習センター ☎054-246-6191
共 催	静岡市葵生涯学習センター
後 援	静岡県教育委員会

# 人工知能が拓く明日の暮らし

趣 旨	情報学部は、人間・環境・情報技術が調和する「情報社会」を目指し、2016年度から3学科（情報科学科、行動情報学科、情報社会学科）体制で教育・研究をおこなっています。本公開講座では、各学科の教員が各々の視点より「人工知能が拓く明日の暮らし」についてお話しし、議論します。「テクノフェスタin浜松」に合わせて開催いたします。		
日 程	11月11日(土) 10:30~12:00		
講 師	所属・職名	講師名	専門分野
	情報学部 情報科学科 准教授	木谷友哉	ITS（高度交通システム）、自動二輪車、センサーネットワーク、データ科学
	情報学部 行動情報学科 准教授	狩野芳伸	自然言語処理、人工知能、対話システム、テキストマイニング
	情報学部 情報社会学科 講師	中澤高師	迷惑施設問題、合意形成問題、環境社会学、環境政治学
	情報学部 情報科学科 教授	西村雅史	音情報処理、音声認識・対話、多人数インターラクシオン、高齢者・障害者支援技術
会 場	静岡大学浜松キャンパス 共通講義棟 共21教室 ※会場までの地図は、P37の交通案内をご覧ください。		
受 講 料	無料		
定 員	100人		
対 象	興味のある方ならどなたでも		
申込方法	メール・葉書のいずれかによりお申し込みください（先着順）。 <input type="checkbox"/> (メール) <a href="mailto:chiiki-megumi@ml.inf.shizuoka.ac.jp">chiiki-megumi@ml.inf.shizuoka.ac.jp</a> <input type="checkbox"/> (葉書) 〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部 地域連携推進室宛 ※氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号、年齢、職業、講座名を明記してください。		
申込期間	10月2日(月) ~ 10月31日(火)		
問 合 せ	静岡大学情報学部 地域連携推進室 ☎053-478-1579		
後 援	静岡県教育委員会		

# アカデミック・カフェ ロボットと共生する情報社会

趣 旨	人工知能（AI）やロボットと人間が共に暮らす社会が迫っています。ロボットや人工知能に何をどこまで任せられることができるだろうか、ロボットにも権利や義務を認めるべきだろうか、それで本当によりよい社会を築くことができるだろうか。こういった問題に対して、情報学部珈琲研究会の協力を得てカフェ形式での自由な討論を通じて理解を深めます。これを通して、秋のテクノフェスタ・オープンキャンパスに会場した高校生や中学生を中心とした地域の人々に、情報学部とくに情報社会学科での未来志向の研究と教育について紹介します。
日 程	11月12日（日） 13:00～15:00
講 師	情報学部講師 中澤高師（社会学・政治学） 情報学部教授 岡田安功（情報法・社会情報学） 情報学部学生 加藤史也（社会情報学） 情報学部教授 （司会）吉田 寛（哲学・情報社会思想）
会 場	静岡大学浜松キャンパス 情報学部2号館 DR教室 ※会場までの地図は、P37の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	30人
対 象	中学生、高校生、一般市民
申込方法	事前申込不要
問 合 せ	情報学部教授 吉田 寛 研究室 ☎053-478-1569 (メール) <a href="mailto:yoshida@inf.shizuoka.ac.jp">yoshida@inf.shizuoka.ac.jp</a>
後 援	静岡県教育委員会



# 藤枝フィールドの散策と 春の雑草観察

趣 旨	静岡大学農学部附属の農場である藤枝フィールドは、東京ドーム3.5個分の広い敷地があり、田んぼやミカン園、茶畑など、さまざまな環境が広がっています。そんな藤枝フィールドを散策しながら、春の野に咲く雑草を観察してみませんか。日ごろ雑草を研究テーマとする植生管理学研究室雑草学分野のメンバーが、たくましく生きる身近な雑草の知恵を紹介します。解説は、小学校高学年程度の子どもたちに合わせて行いますが、大人の方や小さな子どもたちの参加も大歓迎です。
日 程	4月22日(土) 10:00~14:00
講 師	学術院農学領域教授 稲垣栄洋(雑草生態学)
会 場	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド ※会場までの地図は、P38の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	20人 ※多数抽選
対 象	どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
申込方法	電話・FAX・メールのいずれかによりお申し込みください。 TEL) 054-641-9500 FAX) 054-644-4641 メール) inagaki.hidehiro@shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、小学生以下の児童は年齢、講座名を明記してください。
申込期間	4月3日(月) ~ 4月13日(木)
問 合 せ	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500(センター事務室)
後 援	静岡県教育委員会

# 私のミカン ～ミカンの通年管理教室～

趣 旨	庭先に果樹が植えてあるけど、世話の仕方が良く分からない！ これから、果樹の栽培を始めてみたい！という方を対象とした 講座です。一年を通じて、一緒に楽しく作業しながら、果樹栽 培の基本的な知識と技術を習得しましょう。収穫時にはミカン のプレゼントもあります。
日 程	5月9日(火)、7月11日(火)、9月12日(火)、11月14日(火)、 3月6日(火) [全5回] 13:30～15:30
講 師	技術部技術専門職員 成瀬博規(果樹) 技術部技術職員 周藤美希(果樹) 学術院農学領域准教授 八幡昌紀(果樹園芸学)
プログラム	5/9 「着花管理」 7/11 「粗摘果」 9/12 「仕上げ摘果」 11/14「収穫」 3/6 「整枝・剪定」
会 場	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド会議室 ※会場までの地図は、P38の交通案内をご覧ください。
受 講 料	10,000円
定 員	10人 ※応募者多数の場合、抽選
対 象	一般市民
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。 〔FAX〕054-644-4641 〔メール〕nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp 〔葉書〕〒426-0001 藤枝市仮宿63 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究セン ター事務室宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、講座名を明記 してください。
申込期間	4月7日(金)まで
問 合 せ	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500(センター事務室)
後 援	静岡県教育委員会

# 紅茶作りに挑戦しよう

趣 旨	お茶にはいろいろな種類がありますね。その種類は製造方法の違いから大きく三つに分けられます。不発酵茶、半発酵茶、発酵茶の三つです。同じチャの葉から、製造方法を変えることで、日本茶も紅茶もできるんですよ。今回は藤枝フィールドの茶畑で採れた茶葉を使って、紅茶作りを体験し、茶について学びます。
日 程	7月27日(木) 13:00~16:00
講 師	学術院農学領域教授 稲垣栄洋(作物) 技術部技術専門職員 西川浩二(作物) 技術部技術専門職員 成瀬和子(作物)
会 場	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター 藤枝フィールド ※会場までの地図は、P38の交通案内をご覧ください。
受 講 料	1,000円
定 員	20人 ※応募者多数の場合、抽選
対 象	一般市民。小学生以下は保護者同伴(保護者の方も申し込みが必要)。
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。 (FAX) 054-644-4641 (メール) nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp (葉書) 〒426-0001 藤枝市仮宿63 静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター事務室宛 ※氏名(ふりがな)、年齢(学年)、郵便番号、住所、性別、電話番号、FAX、メールアドレス、講座名を明記してください。
申込期間	4月3日(月) ~ 6月30日(金)
問 合 せ	静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター ☎054-641-9500(センター事務室)
後 援	静岡県教育委員会

# 遺伝子の世界を見てみよう

趣 旨	遺伝子組換え実験によく使用されるオワンクラゲの緑色蛍光タンパク質 (GFP) や、遺伝子組換え技術を用いて作製されるiPS細胞など、近年の日本人によるノーベル賞受賞により、遺伝子組換え技術やヒトゲノム等の話題が以前にも増して身近なものになっています。本講座では、自分の爪や髪の毛からDNAを抽出して観察したり、光る大腸菌を作り出すといった、遺伝子に関する簡単な実験を体験してもらうことにより、遺伝子組換え技術に関する正しい知識と考え方を身につけてもらうことを目的としています。
日 程	8月2日(水) 10:00~17:00 8月3日(木) 10:00~15:00 [全2回]
講 師	グリーン科学技術研究所准教授 道羅英夫 (ゲノム科学) 技術部技術職員 森内良太 (生命科学)
プログラム	8/2 「爪や髪の毛からDNAを抽出する」(道羅) 8/3 「光る大腸菌を観察する」(森内)
会 場	静岡大学静岡キャンパス グリーン科学技術研究所遺伝子実験棟 P1実験実習室・セミナー室 ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	20人
対 象	県内高校生
申込方法	FAX・メールのいずれかによりお申し込みください。 静岡大学グリーン科学技術研究所 遺伝子実験棟管理室宛 〔FAX〕054-238-4926 〔メール〕gene.lab@adb.shizuoka.ac.jp ※2日間とも参加できる方に限りです。参加希望者は高校を通して申し込んでください。なお、申込者は各校3名までとし、多数の場合は学校単位で抽選とさせていただきます。
申込期間	6月12日(月)～7月7日(金)
問 合 せ	静岡大学グリーン科学技術研究所 遺伝子実験棟管理室 ☎054-238-4926
後 援	静岡県教育委員会

# 体験!大学の化学実験

趣 旨	中学や高校では行われていない化学実験を、実際に体験できる場を設けます。中学生、高校生に当大学の研究教育活動に触れることができる機会を設け、科学への興味を喚起することを目的とします。
日 程	8月19日(土)、20日(日) [全2回] 10:00~16:00
講 師	グリーン科学技術研究所教授 近藤 満(無機化学・金属錯体化学) 理学部講師 守谷 誠(無機化学・材料科学)
プログラム	8/19「アルマイトの作製と着色」(守谷) 8/20「ルミノールの合成と発光実験」(近藤)
会 場	静岡大学静岡キャンパス 共通教育C棟205室北(理学部化学科専門実験室) ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	30人
対 象	中学生、高校生(父兄の同伴可能)、理科教育の関係者
申込方法	FAX・メールのいずれかによりお申し込みください(先着順)。 静岡大学グリーン科学技術研究所 研究支援室分子構造解析部宛 〔FAX〕054-238-3045 〔メール〕kondo.mitsuru@shizuoka.ac.jp ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、生年月日、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	5月1日(月) ~ 7月31日(月)
問 合 せ	静岡大学グリーン科学技術研究所 研究支援室分子構造解析部 ☎054-238-4763
後 援	静岡県教育委員会

# 静岡大学キャンパスミュージアム 公開講座 2017

趣 旨	静岡大学の静岡キャンパスは有度山西麓のユニークな環境に立地し、豊かな自然と歴史遺産がいたるところにあります。静岡大学キャンパスミュージアムでは、こうしたキャンパス資源を教育や地域との連携に生かすことを視野に、生物調査などを実施してきました。講座では、本学の教員等を講師として、キャンパスの自然と歴史遺産を現地で観察しながら調査研究の成果を紹介します。なお、雨天時はキャンパスミュージアム内でスライドや標本の観察をおこないながら実施します。
日 程	10月7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土) [全4回] 10:00~12:00
講 師	理学部准教授 徳岡 徹(環境応答学) 人文社会科学部准教授 山岡拓也(考古学) 理学部准教授 石橋秀巳(地球科学) ふじのくに地球環境史ミュージアム 岸本年郎(昆虫分類学)
プログラム	10/7「大学構内の植物探訪」(徳岡) 10/14「石器の見方～石器の作り方と種類～」(山岡) 10/21「静岡のジオダイナミクス」(石橋) 10/28「身近な足もとの虫たち～土壌動物～」(岸本)
会 場	静岡大学静岡キャンパス(雨天時はキャンパスミュージアム実習室) ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	15人
対 象	一般市民、学生、小中高生(中学生以下は保護者同伴)
申 込 先	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX 054-238-4428 <input type="checkbox"/> メール syakai-renkei@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学研究協力課 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号、受講したい講座名を明記してください。
申込期間	8月1日(火)～9月15日(金)
問 合 せ	静岡大学研究協力課 ☎054-238-4056
後 援	静岡県教育委員会

# フルーツの多様性から 農業ビジネスの可能性を探ろう！

趣 旨	フルーツには様々な品種があり、大きさ、味、見た目等々に多様な違いが見られます。しかし、普段お店に並ぶのは限られた品種で、消費者がその違いを目の当たりにすることは稀です。近年、新品種はもちろん、在来品種や古い品種などメジャー品種との「違い」をビジネスチャンスと考え商品開発を行う生産者・企業の皆さんも出てきました。本講座では実物に触れ、食べ、それぞれのストーリーを知り、「フルーツの違いの面白さ」を発見し、商品選択・開発する際のヒントにしてもらう目的で講座を開講します。それぞれのフルーツの奥深さを、見て、聞いて、食べて感じていただける講座です。
日 程	10月13日(金)、12月1日(金)、2月23日(金) [全3回] 14:00~17:00(時間は目安)
講 師	鳥取大学農学部教授 田村文男(果樹園芸学) 農学部准教授 松本和浩(園芸学) 農研機構果樹茶業研究部門カンキツ研究領域カンキツ育種ユニット長 吉岡照高(育種学) キウイフルーツカントリーJapan代表 平野耕志(果樹園芸学)
プログラム	①10/13「ニホンナシの多様性を知ろう」(田村) ②12/1 「リンゴの多様性を知ろう」(松本) ③2/23 「カンキツ・キウイフルーツの多様性を知ろう」(吉岡・平野)
会 場	健康文化交流館「来・て・こ」302活動室 ※会場までの地図は、P39の交通案内をご覧ください。
受 講 料	無料
定 員	各回50人
対 象	フルーツの多様性を活用した農業ビジネスの展開に興味がある方
申込方法	電話によりお申し込みください(先着順)。 健康文化交流館「来・て・こ」宛 (TEL) 054-202-4300(日曜を除く9:00~21:00) ※各講座ごとに募集します。 ※氏名(ふりがな)、住所(県・市まで)、電話番号、メールアドレス(あれば)、あれば所属をお知らせください。
申込期間	①8月11日(金)～、②10月6日(金)～、③12月22日(金)～
問 合 せ	健康文化交流館「来・て・こ」 ☎054-202-4300 <a href="http://sgc.shizuokacity.jp/lc/detail.asp?lclid=10">http://sgc.shizuokacity.jp/lc/detail.asp?lclid=10</a> (健康文化交流館「来・て・こ」) <a href="https://www.facebook.com/laboratory.of.horticultural.Innovation/">https://www.facebook.com/laboratory.of.horticultural.Innovation/</a> (松本和浩研究室)
共 催	静岡市駿河生涯学習センター
後 援	静岡県教育委員会、弘前大学研究・イノベーション推進機構、プラムリーファンクラブ(以下予定)静岡県経済産業部、JA静岡経済連、鳥取大学産学・地域連携推進機構、農研機構果樹茶業研究部門

## 安心登山・アウトドア活動のための 読図とナビゲーションスキル(初級編)

趣 旨	第三次登山ブームと呼ばれる中、道迷い遭難の比率が高くなっています。安全で確実な登山やアウトドア活動のために地図読みを学びたい登山者を対象に、基礎的な読図の方法やコンパスの利用の仕方を学びます。移動中の読図はもちろん、地図を登山前のリスク管理にどう役立たせるかなど、実践的なテーマをカバーしています。
日 程	5月14日(日) 9:30~16:30
講 師	教育学部教授 村越 真(野外活動) プロアドベンチャーレーサー 宮内佐季子(野外活動)
会 場	静岡大学静岡キャンパスおよび屋外 ※詳細は受講者にお知らせします。
受 講 料	3,000円
定 員	25人
対 象	登山・アウトドア活動を行う一般市民
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="text" value="FAX"/> 054-237-6347 <input type="text" value="メール"/> kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="text" value="葉書"/> 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、年齢、性別、講座名、大学までの交通手段を明記してください。
申込期間	4月28日(金)まで
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422
共 催	特定非営利法人M-nop
後 援	静岡県教育委員会



# 静岡大学で学ぶ春の走り方

趣 旨	季節を問わずあらゆるスタイルの「走」がブームになっています。現存するものに限らない「走」の多様性を楽しむためには、自身の学びと価値観を整理しながら、走り方を再検討し続ける力が大切になります。本講座では講義と実技を通じて「走」の本質を学び直すことから「春の走り方」を考えていきます。
日 程	5月20日(土) 14:00~17:00
講 師	シャローム学園 二見隆亮(生涯スポーツ)
プログラム	生涯学習と春の走り方
会 場	静岡大学静岡キャンパス学内 ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受講料	2,000円
定 員	15人
対 象	一般市民(中学生以上)
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX 054-237-6347 <input type="checkbox"/> メール kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、年齢、性別、講座名、大学までの交通手段を明記してください。
申込期間	5月5日(金)まで
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422
後 援	静岡県教育委員会

## 静岡大学で学ぶ夏の走り方

趣 旨	季節を問わずあらゆるスタイルの「走」がブームになっています。現存するものに限らない「走」の多様性を楽しむためには、自身の学びと価値観を整理しながら、走り方を再検討し続ける力が大切になります。本講座では講義と実技を通じて「走」の本質を学び直すことから「夏の走り方」を考えていきます。
日 程	7月22日(土) 14:00~17:00
講 師	シャローム学園 二見隆亮(生涯スポーツ)
プログラム	走学習と夏の走り方
会 場	静岡大学静岡キャンパス学内 ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受講料	2,000円
定 員	15人
対 象	一般市民(中学生以上)
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-237-6347 <input type="checkbox"/> メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、年齢、性別、講座名、大学までの交通手段を明記してください。
申込期間	6月1日(木) ~ 7月7日(金)
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422
後 援	静岡県教育委員会

# 静岡大学で学ぶ秋の走り方

趣 旨	世代や地域を問わずあらゆるスタイルの「走」がブームになっています。現存するものに限らない「走」の多様性を楽しむためには、自身の学びと価値観を整理しながら、走り方を再検討し続ける力が大切になります。本講座では講義と実技を通じて「走」の本質を学び直すことから「秋の走り方」を考えていきます。
日 程	9月16日(土) 14:00~17:00
講 師	シャローム学園 二見隆亮(生涯スポーツ)
プログラム	価値観の整理と秋の走り方
会 場	静岡大学静岡キャンパス学内 ※会場までの地図は、P36の交通案内をご覧ください。
受講料	2,000円
定 員	15人
対 象	一般市民(中学生以上)
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX 054-237-6347 <input type="checkbox"/> メール kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、年齢、性別、講座名、大学までの交通手段を明記してください。
申込期間	7月18日(火) ~ 9月1日(金)
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422
後 援	静岡県教育委員会

## 安心登山・アウトドア活動のための 読図とナビゲーションスキル(中級編)

趣 旨	第三次登山ブームと呼ばれる中、軽微な遭難、とりわけ道迷い遭難が増えています。本講習では、地形図について基礎知識があり、6-7km程度を歩き通せる登山者を対象に、実践的な技術を伝授します。静岡市郊外の山道で実施します。目的地までは往路はバス移動(費用は受講料に含む)、帰りの交通費については各自負担(数百円程度)となります。
日 程	10月9日(月・祝) 9:30~16:30
講 師	教育学部教授 村越 真(野外活動) オリエンテーリング元アジアチャンピオン 小泉成行(野外活動)
会 場	屋外(静岡市郊外) ※詳細は受講者にお知らせします。
受 講 料	4,000円
定 員	20人
対 象	過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で、6-7km程度を無理なく歩ける方
申込方法	FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください(先着順)。 <input type="checkbox"/> FAX) 054-237-6347 <input type="checkbox"/> メール) kyouiku@adb.shizuoka.ac.jp <input type="checkbox"/> 葉書) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学教育学部総務係宛 ※氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号(できるだけ携帯電話)、年齢、性別、講座名、希望集合場所(①静岡キャンパス②静岡駅前、のいずれか。①を希望の場合は大学までの交通手段も)を明記してください。
申込期間	7月3日(月) ~ 8月31日(木)
問 合 せ	静岡大学教育学部総務係 ☎054-238-5422
共 催	特定非営利法人M-nop
後 援	静岡県教育委員会

---

# その他の 大学開放事業

---

静岡大学では、公開講座以外にも、それぞれの学部などで市民向けのさまざまな催しをおこなっています。ここではその一部を紹介します。

# サイエンスカフェ in 静岡

## ■サイエンスカフェとは？

「サイエンスカフェ in 静岡」は、主に本学理学部の研究者を講師に迎え、最先端のサイエンスの話を聴きながらコーヒーを楽しむカフェとして、2006年12月にオープンしました。中高生から熟年の方々まで幅広い世代に、身近な興味ある話題から普段触れることのない最先端科学まで、多くの話題を取りあげること、科学に対する興味や新しい視点を提示することができれば幸いと思い取り組んでいます。

くつろいだ雰囲気の中で、最先端の科学の話題に耳を傾けていただければと思います。コーヒーとお菓子を用意してお待ちしております。

■定員 150人(先着順) ※事前申込不要

■受講料 無料

■会場 B-nest静岡市産学交流センター(ペガサート6階)

プレゼンテーションルーム

## ■お問い合わせ

サイエンスカフェ 8代目店長 天野 豊己(理学部 生物科学科)  
E-mail : [sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp)  
<http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/index.html>

ブログ版サイエンスカフェin 静岡  
(4代目坂本元店長によるブログ)  
<http://sciencecafe.eshizuoka.jp/>

■主催 理学部

## 第24シーズン(2017年3月から)開催スケジュール

回	日時	タイトル	講師
113	3月30日 (木)	甲虫の多様性とその危機	ふじのくに地球環境史 ミュージアム 岸本 年郎
地球上の約150万種の生物が命名・認識されていますが、そのうち約40万種が甲虫です。これには未発見・未命名のものは含まれていません。まだまだ多くの新種が見つかる甲虫ですが、一方で絶滅していく種があります。甲虫の魅力と危機の現状をお伝えします。			
114	4月27日 (木)	月周回衛星「かぐや」で得られた成果と今後の月探査	宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 大竹 真紀子
我が国最初的大型月探査機である「かぐや」によって、月表面の地質や組成、重力場など多くの観測データが得られ、それらの解析によって月の起源と進化に関して多くの成果が得られています。本講演では、それら成果を紹介するとともに、「かぐや」で得られた科学成果や技術を元に、今後どのような月探査を検討しているのかについても議論します。			
115	5月18日 (木)	ちいさな生き物のカラクリ工作	静岡県立大学食品栄養 科学部環境生命科学科 原 清敬
微生物は、はっこう食品や薬を作ってくれます。今回は、微生物を変身させて、食べられない原料を食べられるようにしたり、環境にやさしい方法で有用物質をたくさん作れるようにしたりするカラクリをそっとお教えします。			
116	6月29日 (木)	材質をみるCT ～フォトンカウンティングの力～	情報学部情報科学科 青木 徹
幅広く使われているX線の世界に「色」を。「フォトンカウンティング」の手法でX線光子のエネルギーを検出しイメージングに持ち込むとエネルギー(色)情報の物理軸で材質をみわけけるCTの世界が始まります。新しいX線イメージングの世界を原理と共に紹介します。			
117	7月20日 (木)	環境ホルモンは未来を奪ったか?～環境中の化学物質が生物に及ぼす影響～	理学部生物科学科 石原 顕紀
1997年に出版され、ベストセラーとなった「奪われし未来」で注目された環境ホルモン。近年あまり耳にしなくなった、これら環境中の化学物質は、生物にどんな影響を与えるのでしょうか。発達障害との関連や、作用メカニズムについてご紹介します。			

# 浜松 RAIN 房

## ものづくり理科地域支援ネットワーク

### ■浜松RAIN房とは？

地域ぐるみで「ものづくり・理科教育」を支援していくネットワークです。静岡大学工学部を中心に、市、浜松商工会議所、地元企業、市民グループなどとの連携を広げ、このネットワークで地域のイベントや講座などへの支援を行っていきます。

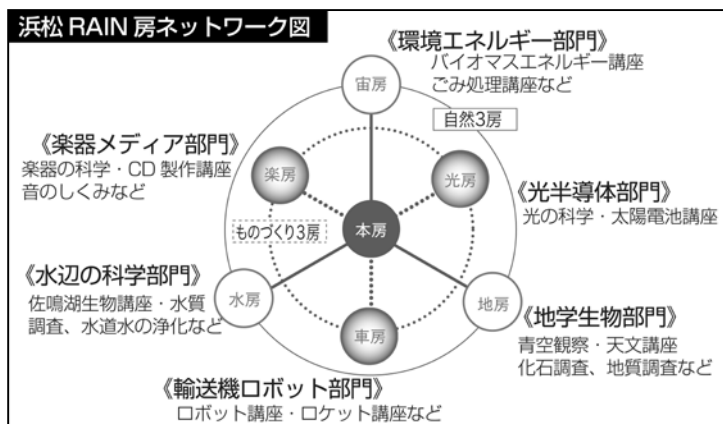
### ■浜松RAIN房のネットワーク

ものづくり3房（車房・楽房・光房）、自然3房（水房・地房・宙房）と本房の7つの房で構成されます（下図参照）。名称は、虹色の7色にかけて『レインボウ』としています（房＝クラスター：ネットワークのグループ）。RAIN房の『RAIN』は、RAIN=RApport between Industry & Nature（産業と自然との協調関係）をあらわしています。

### ■どんなことをするの？

浜松RAIN房では、ネットワークに連携する団体の情報を集約・発信するとともに、各地域でのイベント（ものづくり講座や理科実験）に教材の提供や講師の派遣などを行い、理科教育を身近に感じていただく活動を展開していきます。浜松RAIN房のホームページには、この地域で行われるものづくり・理科教室等の情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

浜松RAIN房ホームページ <http://train1.eng.shizuoka.ac.jp>



### ■お問い合わせ

浜松RAIN房

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学工学部内

☎053-478-1759/FAX053-478-1757

E-mail : [trainbow@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:trainbow@ipc.shizuoka.ac.jp)

<http://train1.eng.shizuoka.ac.jp/>



## 哲学カフェ@しぞ〜か

生きていくなかで、他の人や物事との出会いを通して、私たちは多くの問いの前に立たされます。それらの問いを共有し、討議を通して共に掘り下げる場、それが哲学カフェです。

異なった見方や考え方にふれ、そこからさらに問いを深めていきましょう。

### ■開催日時

4月15日、6月17日、8月19日、10月21日、12月16日、  
2018年2月17日

いずれも土曜日 15:00～18:00 (受付14:30)

■お問い合わせ E-mail : philocafe.shizuoka@gmail.com

■詳細はFacebook (哲学カフェ@しぞ〜かで検索) をご覧ください。

## 死生学カフェ

死生学カフェは、生きること、死にゆくこと、かけがえのないものを失うことなど、生と死にかかわる多様な課題について出会いと探究の姿勢を大切にしながら当事者の語りに聴くという姿勢を大切にしながら、対話を試みる場です。

### ■開催日時

5月20日、7月15日、9月16日、11月18日、2018年1月20日、  
3月17日

いずれも土曜日 15:00～18:00 (受付14:30)

■お問い合わせ E-mail : shiseigakucafe@gmail.com

■詳細はFacebook (死生学カフェで検索) をご覧ください。

哲学カフェ・死生学カフェともに

■参加費 一般1,000円/学生500円 (フリードリンク、お菓子付)

■会場 スノドカフェ七間町(静岡市葵区七間町7-8 054-260-6173)

# グリーンサイエンスカフェ 【全4回(予定)】 by グリーン研

## ■グリーンサイエンスカフェとは？

平成25年に発足した「グリーン科学技術研究所」の教員が、研究者の夢や失敗談、ときには笑いを交えて個々の研究を紹介します。

気楽に科学の話題に耳を傾けてみませんか？

■会 場 (静岡開催) B-nest静岡市産学交流センター

## ■開催スケジュール

奇数月の土曜日開催 (1)～(3)：14:00～15:30

(4)：開催時刻未定

- (1) 5月13日(土) 講師：峰野博史(グリーンエネルギー研究部門)
- (2) 7月8日(土) 講師：富田因則(グリーンバイオ研究部門)
- (3) 9月9日(土) 講師：宗林留美(グリーンバイオ研究部門)
- (4※) 11月18日(土) 講師：近藤 満(グリーンケミストリー研究部門)
- 11月19日(日) 講師：轟 泰司(グリーンバイオ研究部門)

※11月のグリーンサイエンスカフェは、静大祭・キャンパスフェスタの企画として、静岡大学(静岡キャンパス)にて開催予定です。

○講話の内容等、詳細については決定次第、下記のウェブサイトにてお知らせします。

<http://www.green.shizuoka.ac.jp/>

■受講料 無料

■定 員 100名(先着順) ※事前申込不要

## ■お問い合わせ

静岡大学

学術情報部 研究協力課

TEL：054-238-4264

E-mail：kenkyu2@adb.shizuoka.ac.jp

## 静岡大学・読売新聞 連続市民講座【全5回】

- 開催時期 2017年7月～10月
- 対象 一般市民
- 受講料 無料
- 会場 あざれあ（静岡県男女共同参画センター）

## 静岡大学・中日新聞連携講座 【全5回】

- 開催時期（予定） 2017年10月～2018年2月
- 対象 一般市民
- 受講料 無料
- 会場 静岡大学 浜松キャンパス

---

○開催日時、テーマについては決定次第、下記のウェブサイトにてお知らせします。

<http://www.lc.shizuoka.ac.jp/index.html>

### ■お問い合わせ

イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門  
☎054-238-4817 E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

# 市民開放授業

## ■市民開放授業とは

静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。生涯学習の要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としています。

## ■市民開放授業の特徴

- 高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- 大学の正規の授業科目を受講していただけますが、単位の認定は行いません。したがって、単位認定試験は行いません。また、修了証明書等の発行も行いません。

## ■市民開放授業のメリット

- 静岡大学の正規学生と一緒に受講していただけますので、若い世代の学生と交流をもちながら、学ぶことができます。
- 構内の生協(食堂・書店など)や附属図書館を利用することができます。また、一時保育施設を利用することもできます(有料、静岡キャンパスのみ)。

## ■受講の方法

3月下旬(前学期分)、9月下旬(後学期分)に静岡と浜松で事前説明会を行っています。詳しくはお問い合わせください。

■受講料 一科目9,500円 [半期14回]

## ■お問い合わせ・資料請求

イノベーション社会連携推進機構 市民開放授業係

☎054-238-4817 E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

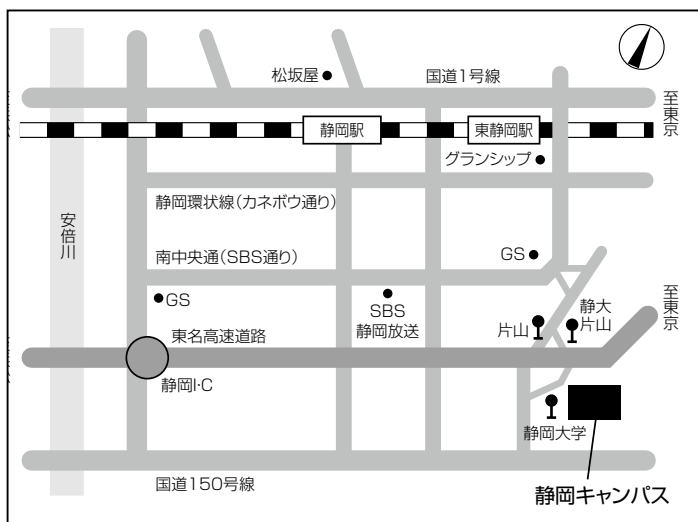
---

# 各会場への アクセス

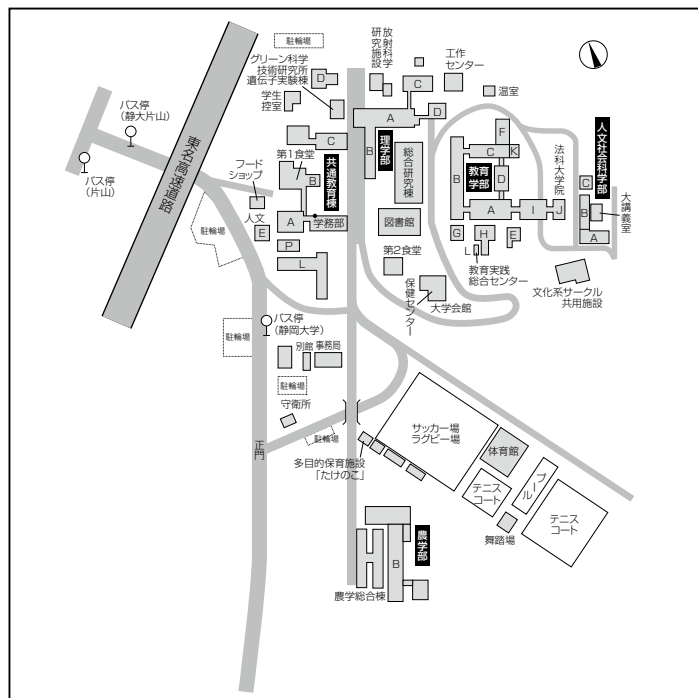
---

■静岡大学静岡キャンパス

所在地：静岡市駿河区大谷836

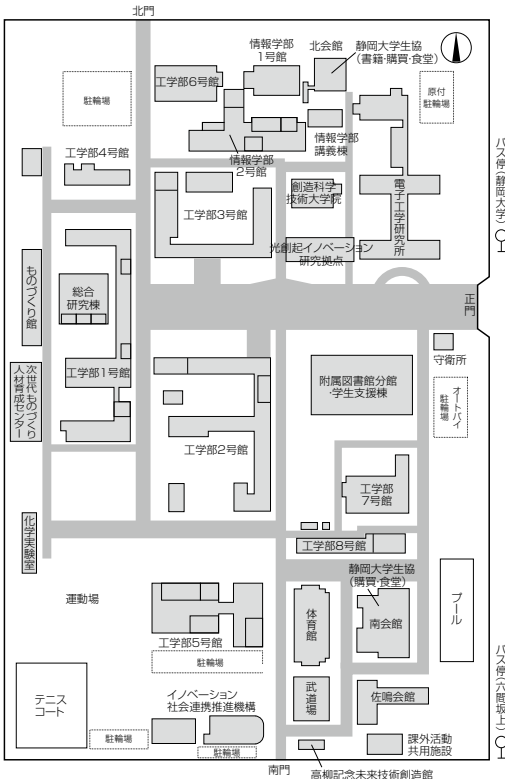
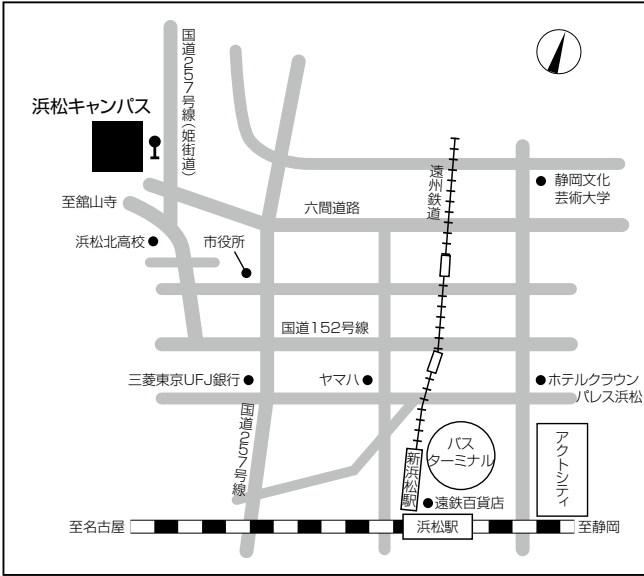


1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス19番乗り場から、「静岡大学」または「大谷」行きに乗車し、「静大前」または「片山」（午前中のみ）バス停車（所要時間約25分、1時間に5～7本運行）。※「片山」バス停は午前中のみ停車です。ご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。



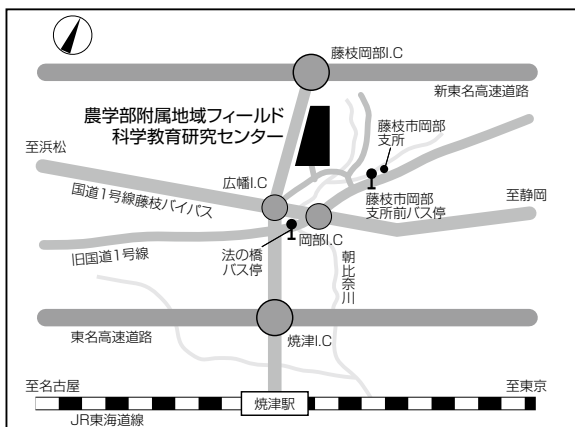
■静岡大学浜松キャンパス

所在地：浜松市中区城北3-5-1



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗車し(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

## ■静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター

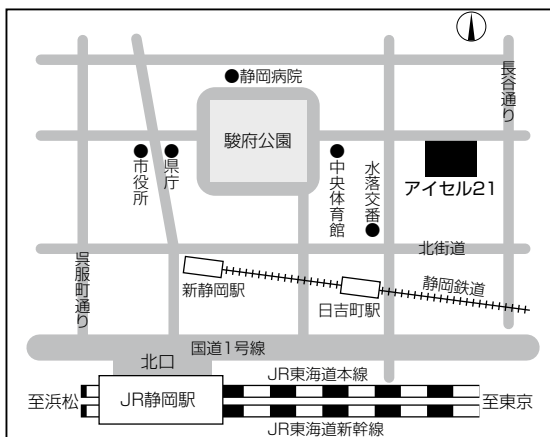


所在地：  
藤枝市仮宿63

### 交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス4番乗り場から、「藤枝駅前行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約40分）。
2. JR藤枝駅しずてつジャストラインバス2番乗り場から「新静岡行き」に乗車し、「藤枝市岡部支所前」または「法の橋」バス停下車徒歩20分（バス所要時間約20分）。
3. JR焼津駅からタクシーで約15分。
4. 東名高速道路焼津インターより車で約10分、国道1号線藤枝バイパス広幡インターより車で約5分。

## ■アイセル21（静岡市葵生涯学習センター）



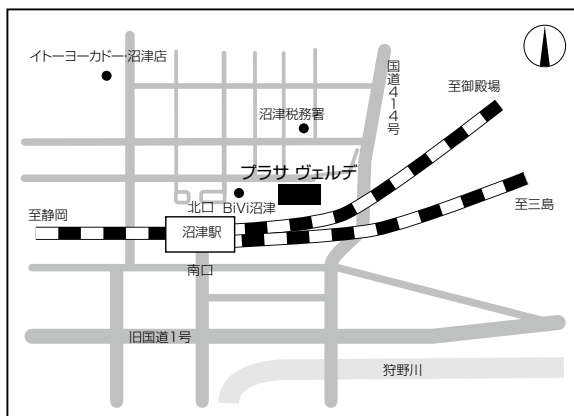
所在地：  
静岡市葵区東草深町  
3-18

### 交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「県立総合病院行き」（県立病院高松線）に乗車し、「アイセル21」バス停下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストライン10番乗り場から、「駿府浪漫バス」に乗車し、「中央公民館前」バス停下車。
3. JR静岡駅北口より徒歩30分。
4. 静鉄新静岡駅より徒歩20分。
5. 静鉄日吉町駅より徒歩15分。



## ■ プラサ ヴェルデ (ふじのくに千本松フォーラム)



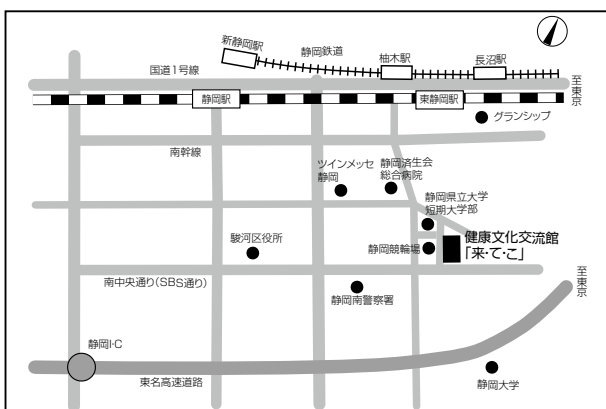
所在地：  
沼津市御幸町15-1

### 交通案内

JR沼津駅北口より徒歩3分

## ■ 健康文化交流館「来・て・こ」

所在地：静岡市駿河区小鹿2-25-45



### 交通案内

1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス8B番乗り場から、「静岡大学」「東大谷」「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き(美和大谷線)に乗車し、「競輪場入口」バス停下車。
2. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス11乗り場から、「小鹿営業所行き」(小鹿線)に乗車し、「小鹿営業所」バス停下車。
3. JR静岡駅南口しずてつジャストラインバス21乗り場から、みなみ線(内回り、外回り)に乗車し、「小鹿営業所」バス停下車。







## 発行

---

静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
地域連携生涯学習部門

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

☎054-238-4817 FAX054-238-4295

E-mail: LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

URL: <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/>

パンフレットに掲載されている情報は 2017 年 2 月現在の  
ものです。

都合により、内容が変更される場合がありますので事前にご  
確認ください。